

川本 みつ子さん 日本画 (松伏町在住)

<プロフィール>

幼いころから絵を描くのが大好きで、中学・高校と美術部に所属していました。25歳でデッサン教室に、29歳で日本画教室に通い、本格的に日本画を始めました。現在も通い続け、主に人物を描いています。

川本さんは、町社協のホームヘルパーとして訪問介護の仕事を経て、現在、ケアマネージャーとして独立し、忙しい日々を送られています。その傍ら、日本画を描き続け、県内最大の公募美術展である埼玉県美術展覧会(県展)へは1996年から毎年出品され、これまで10回の入選を果たし、昨年の第60回記念の県展では、県知事賞を受賞されました。

受賞作品「お・も・い」は、県内を拠点とする銀行の2011年カレンダーに採用されたので、皆さんの目に触れる機会が多くなると思います。

川本さんからのメッセージ

「絵を描くのが大好きで、特に自分の思い描いていた色彩を出せると、とてもうれしくなります。忙しい日常の中で、自分のやりたいことができることは、家族や周りの方々のおかげです。感謝の気持ちを忘れず、これからも大好きな絵を描いていきたいです。」



埼玉県知事賞
「お・も・い」

ZOOM UP!

松伏町優良従業員表彰式を行いました【11月16日】



町内企業の事業の促進に寄与した8事業所延べ14名の方に、町及び商工会から表彰状と記念品の授与を行いました。

松伏町障がい者スポーツレクリエーション大会を開催しました【11月20日】



B & G海洋センター体育館で、埼玉県障害者交流センター、埼玉県障害者スポーツ協会、埼玉県障害者スポーツ指導者協議会、松伏町体育指導委員会の協力のもと61人が参加し、ボッチャ、スポーツ吹き矢、フライングディスクなど8種目の個人競技、大型風船リレーとバケツでポンの団体競技を開催しました。

第37回農業収穫祭を開催しました【11月28日】

県営まつぶし緑の丘公園で、農産物の品評及び販売をはじめ、米の計量大会等のイベントが行われ、多くの来場者で賑わいました。



障がい者による作品展を開催しました【12月1日～10日】



障害者の日記念事業として、絵画、陶器、詩など多くの作品を役場ロビーに展示しました。

みんなで築こう 人権の世紀【12月11日～12日】



人権週間に伴い、人権擁護委員による啓発活動と町内の小・中学生が作成した人権標語看板、人権メッセージ入り行灯、夢 希望 埼玉10万人メッセージ飾りを展示しました。

第13回松伏町矯正展を開催しました【12月11日～12日】



社会復帰をめざす各地の刑務所受刑者の作品展示・即売会である矯正展が、B & G海洋センターで開催され、2日間で計約1,000人が来場しました。